

学校教育目標

夢をもち、ふるさとを愛し、自ら未来を切り拓く児童の育成
「かがやく えがお」

来年度全国学力学習状況調査では、「お互いに協力しながら課題の解決に取り組む」「話し合い活動を通じて、自分の考えを深めたり新たな考え方に気付いたりする」「分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげる」という質問において、肯定的な回答+5ポイントを目指す。

自ら学びを楽しむ子どもの育成

「解決したい」という思いをもつ

- 「導入」の充実
- ・子どもを魅力的な教材（題材）と出会わせたり、教材（題材）との出会わせ方を工夫したりする。

粘り強く取り組む

- 協働的に学ぶ環境づくり
- ・学びスタイルや、学習する際のルール・マナーの共通理解を図る。

相手に「伝えよう」とする

- 相手の考えや思いを「聞こう」とする
- 必要感のある「対話」場面の設定
- 相手意識、立場の明確化
- ・子どもが自分の考えを確かにしたり、見方・考え方を広げたり深めたりする場を仕組む。

身に付けた力を「生かす」

- 「振り返り」の充実
- 活用場面の設定
- ・自己の学びを振り返り、理解度や達成の度合い、頑張りや新たな課題などを把握して次の学びへつなげる。
- ・地域と連携・協働する。

学びを支える環境

①教室環境（学習環境）の整備

- 筆箱は、箱形を推奨し、中身を統一する。（生活指導とも関連させる）
- 教室前面掲示を意識的にすっきりさせる。
- よい姿勢「グー・ベタ・ピン」や声のものさしなどの掲示は、学校または低学年と高学年で統一する。
- 座席を整える。（例：テープやマジックでマークする。）
- 分離礼の徹底。
- 時間を守る。（時間前着席、学習用具を準備して休みを。）

②教材・教具の工夫

- ICTの活用。（クロームブック、書画カメラ、写真、電子黒板タブレット、タイマー等）
- ヒントを準備する。（話型カードなど手本を示すもの）
- チョークの色の統一。（白色と黄色のみ使用し、大事なところは黄色を使う。）

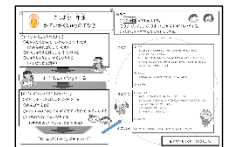
③シンプルで分かりやすいノート作り

- 日付、単元名をどの教科でも記入する。 ○板書とノートを一体化させる。
- 囲み線などは定規で引く。
- 大事なところ（チョークの黄色）はすべて赤鉛筆（赤ペン）で記入する。



④家庭学習の習慣化・質の向上

- 家庭学習の手引きを作成する。
- ・保護者の役割
- ・家庭学習の流れ
- ・目標時間
- ・自主学習の例



- OAIドリル「Qubena」を有効的に活用する。